

大切な人をなくすなど喪失体験をした
子どもを手助けするための

寄り添いスキル

を学ぶワークショップ

とき：2013年1月14日（月）10:00～16:00

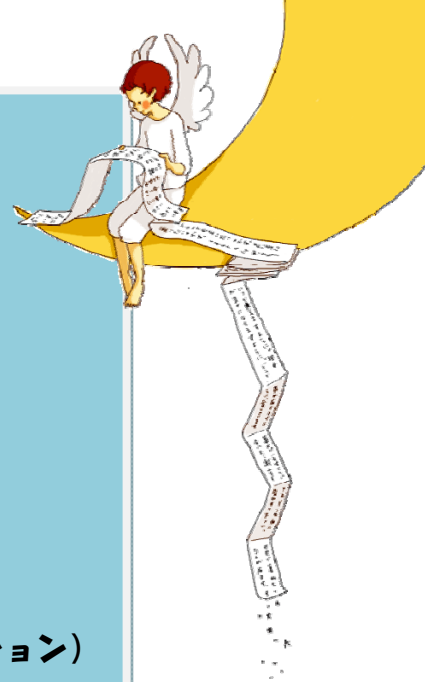
ところ：ふくふくプラザ

講師：西田正弘（子どもグリーフサポートステーション）

アシスタント：相澤治（仙台グリーフケア研究会）



ふわふわ、り



私たちは病気や自死などにより親、兄弟、祖父母をなくした子どもとその保護者のサポートを行って来ました。東日本大震災後は震災や津波で大切な人をなくした子ども達とその保護者も含め、遊びやおしゃべりをしながらこころのコンディションを整える手助けや学習支援をし、保護者の会では語り合いとソーシャルサポートをしています。「大切な人を亡くした子どもたちを目の前にしたとき、戸惑うばかりで、どうしたいいか分からないことが多々ある」という声をよく聞きます。大切な人をなくしたり、大きな環境の変化などの喪失体験をした子どもとその保護へのサポートの場づくりの必要性は全国的な課題でもあります。

日常的なサポートがあるからこそ非常への対応ができます。ひとりでも多くの方に、子どもの喪失体験への理解と、サポートする姿勢について学んでいただきたく、このワークショップを開催します。そして支え合いの輪に加わっていただくようお願いいたします。

研修内容

- ① 子どものグリーフ（喪失による悲嘆、愛惜）についての理解
- ② 遊びやおしゃべりを通じた、当事者の感情表現を手助けするファシリテーションスキルの練習
- ③ 自分自身の喪失体験を大切にすることとセルフケアについて



講師プロフィール

1960年福岡県生まれ。12歳の時に交通事故で父を亡くす。交通遺児育英会、あしなが育英会に28年間に勤務、心のケアプログラムを担当。2011年10月退職。東日本大震災中央子ども支援センター外部アドバイザー、NPO法人全国自死遺族総合支援センター、NPO法人グリーフサポートハウス他の理事。全国に喪失体験を抱えた子どもと家族を支える場を立ち上げる支援をしている。

■日時 >> 2013年1月14日（月）10:00～16:00

■会場 >> ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）601 研修室 福岡市中央区荒戸3-3-39

■定員 >> 25名（申し込み1月7日まで 定員に満たなければ締め切り後も受け付けます）

■参加費 >> 3000円（昼食含む）

■主催 >> 子どもグリーフサポートステーション

■後援 >> ワーカーズコープ九州沖縄事業本部

■協力 >> 仙台グリーフケア研究会 子ども権利条約@ふくおか

■申込・問い合わせ >> 電話 070-5586-1165 FAX 022-774-1612 info@cgss.jp

参加希望の方は、①お名前 ②電話&メールアドレス ③所属団体(あれば)を明記の上、FAX かメールでお申し込みください。折り返し受講確認のご連絡をさせていただきます。

子どもグリーフサポートステーション（NPO法人取得申請中）<http://www.cgss.jp>
〒980-0021 仙台市青葉区中央3-6-7 東日本建物仙台駅前ビル6階